

# スタイリストから漁師へ、上五島を拠点に漁業

いかり ゆういちろう

上五島町漁業協同組合 碇 裕一郎さん 41歳

漁業暦 18年

碇さんは、マダイ・アマダイなどのはえ縄に従事されています。

碇さんは、八代海を臨む熊本県天草市姫戸町出身で、上五島町漁協所属の組合員として現在タイ、アマダイ延縄漁業を営んでいます。

経歴は、熊本市内の高校を卒業し、美容師を目指して専門学校で一年間学んだ後、同市内の美容室で働いておられました。漁師になった経緯は、幼い頃から釣りが好きであったことと美容師時代、薬品を扱ったりする仕事で身体をこわしたことが仕事を直すきっかけとなり、漁業に転職しました。

元々祖父さん、父親さんとも漁業に従事されていた筋金入りの漁師であったという環境で育ち、しかも二人とも上五島を拠点として五島周辺を漁場としていたこともあり新上五島町へ移住することを決意されました。

最初は父親さんの船に乗り漁業の技術をみっちり学び、今では自分で新船を建造し、大時化以外はほとんど毎日漁に出ているバリバリの漁師です。やはり漁業は自分の努力がそのまま結果に現れやうりがある職業と感じています。

また同漁協の青壮年部に入っており、漁の合間を縫ってイベントなどの活動に参加されています。休日は奥さんと小学生の娘さん三人で家族団らんを楽しんだり、趣味と実益を兼ね釣りにいそいでいます。



碇 裕一郎 さん



## 経歴

**18歳** 高校卒業後美容師を目指す

祖父、父親とも漁師で漁家の家庭で育つが、高校卒業後、美容師を目指し専門学校に進学

**24歳** 上五島に移住

健康を害したことを契機に美容師の仕事を見直し、漁業を始めるために上五島に移住

**41歳** 延縄漁業に従事する

父親の船で修行し28歳のときに新船「真裕丸」(5.8t) 建造。日夜延縄漁業に励む。

## 碇さんのある1日

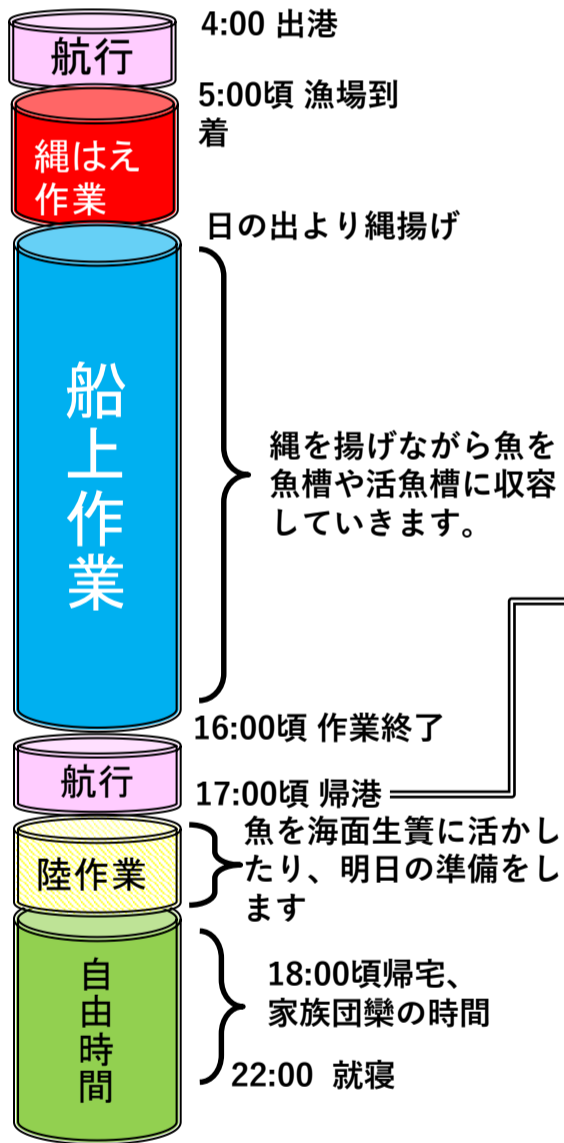


裕真丸 (5.8t) この船で操業します



延縄に使用する鉢

長さ3,000m、320本の針が付いている鉢を7鉢分準備します。



漁場や天候によって本土の港に魚を水揚げし、そこで泊まってそのまま出漁することもあります。

## 漁業以外の生活の様子

○休日や時化の日は漁協青壮年部の行事に参加したり、趣味と実益を兼ね釣りにいそいでいます。

### 奥様の声

毎日ではありませんが家族団楽の時間がもて充実しています。何よりも海あり山ありの自然豊かな上五島で子育てできることは幸せです。

### 漁業就業を目指す方へ

魚の習性に合わせ朝早くから作業が始まりますが、水揚げがあり高値で売れたときなどは結果がすぐ返ってくるので仕事のやりがいを感じています。漁労技術の習得には時間がかかり苦労しますが、そこを乗り越えれば、漁場の開拓や販売の仕方など自分の努力次第で収入も増え魅力ある職業です。また家族との団楽の時間もとれ充実しています。

## 碇さんの本音チャート

